

教育目標 : ○みずから学び 創造する	○心豊かに 互いを尊重する	○健康で たくましく生きる
めざす学校像 : ○学ぶ喜びが実感できる学校	○ふれあう喜びがあふれる学校	○夢を育む学校
めざす生徒像 : ○瞳輝く生徒	○深く考える生徒	○希望に満ちた未来を創る生徒
めざす教師像 : ○教育に対する熱意と使命感に富む教師	○一人一人の良さや可能性を引き出せる教師	○常に学び続ける教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	今後の課題	学校関係者評価記入欄
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
確かな学力	基礎的な知識・技能を確実に身に付け、それらを活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む	生徒の主体的な学習を通して、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を工夫する	自分の考えを発表したり、友だちと話し合う活動を単元の指導計画に位置付ける。	3 88%	4 91.3%	4 93.8%	4 86.5%	・何について話し合うかを明確にする。 ・どのように話し合うかを明確にする。 ・単元の導入、途中、まとめなど、話し合う場面を工夫する。 ・話し合うグループ構成を工夫する。	・教員の研鑽結果として高く評価したい。過去、未来と求め続けられている課題であり、今後も続けていた きたい。 ・生徒が主体的・対話的で深い学びを通して、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を展開してほしい。
			年間を通してユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を実施し、「わかる授業」「できる授業」を実現する	3 84%	4 91.3%	4 88.6%	3 89.2%	・引き続き1時間毎の「ねらい」の提示と「振り返り」の時間の確保を実践していく。 ・教科間での指導方法の共有や、他教科との情報交換を行う。 ・発問の工夫、授業展開の工夫を行う。 ・市教研など、外部での研修での情報を共有する。	・教員の研鑽結果として高く評価したい。過去、未来と求め続けられている課題であり、今後も続けていた きたい。 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境整備、授業展開を今後も継続してほしい。
豊かな人間性	多くの人とのかかわりを通し、自らを律し、他を思いやる心や感動する心を育む	「特別の教科 道徳」の時間を核に、教育活動全体を通して、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める	道徳の授業では、学級やグループで話し合う活動を積極的に取り入れ、「考え、議論する道徳」を実践する	1 73.9%	3 90%	3 87.9%	4 88%	・教科書、指導書を読み込み、授業展開の工夫を行う。 ・生徒の心を揺さぶるような発問を考える。 ・市教研など、外部での研修での情報を共有する。	・「特別の教科 道徳」の時間については、教員が学級やグループ活動取入れ、授業展開を工夫した結果が評価につながったと思われる。今後も更に工夫をされ、指導してほしい。
			総合的な学習や行事など等において生徒が主体的に取り組み、達成感・充実感を味わうことができるようにする	運動会や合唱コンクール等の学校行事や委員会・係活動において、リーダーを中心に積極的に取り組めるよう指導する	4 96%	4 91.7%	2 78%	2 76.2%	・引き続き、生徒会役員、常任委員、実行委員など生徒中心に活動させる。 ・教員が助言等をする時は、なるべく前にならないように配慮する。 ・様々な場面で「褒める」「認める」ことを教員が積極的に行う。(その際は、内容を具体的に示す。)
信頼される学校	特色ある教育活動を推進し、地域や小学校から信頼される学校を創造する	地域と連携した教育活動を推進し、地域を愛し地域に貢献しようとする態度を育てる	国分寺調査や職場体験、地域の安心・安全を考える会、などの教育活動をさらに充実させるとともに、学区内の小学校との間接的・直接的な交流を行う	/	4 10回以上	/	4 80.7%	・3年間の総合的な学習の時間のねらいを把握し、地域にも理解していただく。その上で、国分寺調査や職場体験を実施する。 ・部活や生徒会役員、委員会等と地域の行事がうまく関連できるように工夫する。 ・地域行事への参加が一部の生徒にかたよらないように全体に広がる指導を工夫する。	・3年間の総合的な学習の時間の見直しを持ち、国分寺調査や職場体験を実施している。今後も地域に根差した計画を遂行してほしい。 ・小・中学校の連携は今後より深めていく必要があるため、関係性を密にし9年間を見通した計画を立ててほしい。
			地域行事や奉仕活動に進んで参加し、社会に貢献しようとする意欲や、他者を思いやる心などのボランティアマインドを醸成する	/	4	/	4 86.2%	・引き続き、どのようなボランティアがあるかを積極的に発信し、より多くの生徒が参加できるようにする。 ・教員側の負担が増えないように配慮する。	・生徒の意識をここまで高めたことを評価したい。先生方の努力の成果である。 ・一部の生徒、教員への負担があるように思われるので、精査して計画してもらいたい。

*ボランティアマインド…社会貢献への意欲、思いやる心、自尊感情の向上

取率 : 保護者 78.8 % 生徒・教員100%